

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	教育学部
大項目	5 学生の受け入れ
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 教育学部教育者養成の理念に基づいたアドミッションポリシーを明示し、受験者に目標と内容の理解を徹底する。	→「募集要項・オープンキャンパス等におけるアドミッションポリシーの明示・説明と教授会構成メンバーへの周知」「オープンキャンパス等を利用して受験生への事前相談の実施」	B
2. 教育者養成を核としたアドミッションポリシーの理解を学部としてより深める。	→「各種の入試関係の委員会の開催状況」「入試制度検討委員会の開催頻度と検討の進捗状況」	B
3. 教育学部の理念に基づき、収容定員を過不足無く確保するよう努力を行う。	→「歩留まり率検討委員会の開催頻度」	A
4. 教育学部の理念と教育者養成のアドミッションポリシーに基づき、学生募集と学生選抜が公正かつ適切に実施されているか検証を行う。	→「入試制度委員会の開催頻度」	C

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
学科別にコース別の目標値に収容定員を近づける。	→歩留まり委員会での過去資料の累積と検討	☆
教育者養成を核としたアドミッションポリシーの理解を学部としてより深める。	→オープンキャンパスでの事前相談の教員配置	☆

《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目5.0.1	(方針) 教育学部教育者養成の理念に基づいたアドミッションポリシーを明示し、受験者に目標と内容の理解を徹底する (現状説明) 募集要項・オープンキャンパス等におけるアドミッションポリシーの明示・説明については達成した。教授会構成メンバーへの周知については、オープンキャンパス時の事前相談を、担当部署を持たない教員が担当することによって、教育者養成の理念に基づいたアドミッションポリシーの理解と入試内容の理解を、自主的に理解する方策をとった。
☆ 小項目5.0.2	(現状説明) 各種の入試関係の委員会の開催状況は事前・事後に高い頻度で行っている。また、入試内容の検討は新設学部であるので、完成年度まで現状を維持する考えであるが、将来検討委員会と連動して入試検討委員会を立ち上げる考えである。
☆ 小項目5.0.3	(現状説明) 歩留まり委員会のは高い開催頻度で行っている。概ね全体では適切な人数を確保しているが、過去資料が乏しいため、学科別にコース別に見ると、目標値とに誤差が生じている。
☆ 小項目5.0.4	(現状説明) 入試検討委員会は将来ビジョン委員会と連動させているため、現状では開かれていない。しかしながら、学生募集と学生選抜が公正かつ適切に実施されているか検証については、学部室長委員会で検討を継続的に行っている。
☆ その他	

《特定6項目データ》

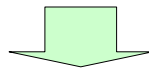
本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【教育学部】		単位	2006	2007	2008	2009	2010	備考
指標1	入学者に占める一般入試入学者の比率	%				46.3%	51.7%	一般入試入学者数÷入学者数 (注)一般入試にセンター入試を含む
表	入試形態別入学者数					→	→	大学基礎データ表15参照
表	学部の社会人・留学生・帰国生徒数					→	→	大学基礎データ表16参照
指標2	志願者総数	人				3,267	3,457	
指標3	志願者倍率	倍				9.3	9.9	志願者÷入学定員
指標4	入学者に占める近畿圏出身者の比率	%	—	—	—	—	—	近畿圏出身入学者数÷入学者数 (注)出身は出身高校の地域による

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目5.0.1	オープンキャンパス時の事前相談を、担当部署を持たない教員が担当することによって、教育者養成の理念に基づいたアドミッションポリシーの理解と入試内容の理解を、自主的に理解する方策をとった。
小項目5.0.2	
★小項目5.0.3	学部目標の定員を確保した。
小項目5.0.4	
その他	



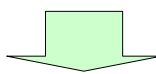
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	将来検討委員会からの中間報告を受け、入試検討委員会を立ち上げる。
★小項目5.0.3	関連するデータの蓄積をいっそう進めたい。
小項目5.0.4	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	将来ビジョン委員会との連動による検討が必要。
★小項目5.0.3	学科別にコース別に見ると、目標値との誤差があり、それを改善する必要がある。
小項目5.0.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	早期に将来ビジョン委員会との連動を図る。
★小項目5.0.3	資料の蓄積と共に、各コースの歩留まりの再検討を行う。
小項目5.0.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○オープンキャンパスでの事前相談など、アドミッションポリシーの浸透に積極的に取り組んでいる姿勢が評価されます。

【学内委員】

○小項目5.0.1の現状説明における(方針)は、方針そのものを記載してください。

○進捗評価は、目標達成を基準に行われます。現在の時点で、既にAである目標については、より進んだ目標を設定することが期待されます。

○「募集要項・オープンキャンパス等におけるアドミッションポリシーの明示・説明と教授会構成メンバーへの周知」とありますが、アドミッションポリシーはHPへの記載が必要ではないでしょうか。また、編入学定員を設けておられますので、その事の特記することが期待されます。

○編入学試験において募集人員を「若干名」としている場合、定員充足しているにも関わらず多くの学生を受け入れている場合は助言の対象となる可能性がありますので注意してください。

○大学基準協会の「評価に際し留意すべき事項」(ハンドブックP78～)において、水準評価として数値による評価がなされるものに注意してください。「4. 学生の受け入れ ③学部における過去5年の入学定員に対する入学者数比率の平均が1.00である」「同、④学部における収容定員に対する在籍学生数比率が1.00である」については、それぞれ助言や勧告の対象値が示されています。絶えず確認し遺漏のないようにお願いします。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

5.0.1「現状説明」の(方針)部分を下記のように修正。

(方針)教育学部の教育者養成の理念である「子ども理解」と「実践力」、「教育力」、「人間力」の育成に基づいたアドミッションポリシーを明示し、受験者に目標と内容の理解を徹底する。

★ 5.0.1「改善すべき事項」に下記のように追記。
アドミッションポリシーと編入学のHPでの提示が必要である。

5.0.1「改善方策」に下記のように追記。
アドミッションポリシーと編入学をHPで提示する。

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

5.0.0.S1	学生の多様性の確保ー入試形態数と入試形態別入学者の割合
5.0.0.S2	各学部の募集人員のうち、一般入試(センター利用入試を含む)の割合
5.0.0.S3	地域別入試会場別志願者数、受験者数、合格者数、入学者数
5.0.0.S4	入試講評(問題と正解、正答率とそのコメント)の公表とその頒布数
5.0.0.S5	AO入試の受験者数と入学者数
5.0.0.S6	社会人学生数(学部別、研究科別)
5.0.0.S7	専門職大学院(KGPS)の受験者数および入学者数
5.0.0.S8	科目等履修生(教職免許状および博物館学芸員資格取得を含む)の入学者数
5.0.0.S9	聴講生の入学者数
5.0.0.S10	留学生数(学部別、研究科別)
5.0.0.S11	国別留学生数(学部別、研究科別)の経年変化
5.0.0.S12	学部における収容定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S13	学部における入学定員に対する入学者比率
5.0.0.S14	編入学定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S15	博士課程前期課程における、研究科ごとの収容定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S16	博士課程後期課程における、研究科ごとの収容定員に対する在学学生数比率
5.0.0.S17	学部・学科の退学者数
5.0.0.S18	学部・学科の編入学学生数

<個別的な指標>
